

りんどう  
LC通信  
かわら版

平成15年  
1月24日  
第6号

PR委員会発行



【山口県上空の初日の出】

新年あけましておめでとうござい  
ます。りんどうLC通信も新年号を迎  
え心機一転、PR委員会一同りんどう  
LCの更なる発展を願ひまして、微力  
を尽くしていくつもりであります。今  
年も何卒ご協力の程よろしくお願ひ  
申し上げます。会員皆様のご多幸をお  
祈り致します。新年の御挨拶とさせ  
て頂きます。  
PR委員会一同

ようこそりんどう・シャカコン

マレーシアからY E生  
「リー・シャオリン」が  
来日。早々にヨイショ!!  
のかけ声と共に①もちつきを体験。正月元旦には  
②三社参拝。そして初  
③アイスクリーム。④ハ  
ウステンボスでは暗くなるまではし  
ぎ廻り、疲れ知らずで⑤久住の雪山登  
山を経験。最後は有馬LCのY E生  
「チーマン」といっしょに⑥振袖姿。日  
本の文化を沢山見て、体験して1月12  
日帰国した。



④ 03.1.3 ハウステンボス ② 03.1.1 三社参拝  
③ 03.1.6 振袖姿 ⑤ 03.1.7 雪山登山(久住雪山)  
③ 03.1.2 アイススケート ① 02.12.23 もちつき

能と狂言について～能楽・シテ方五流の源点～



同LCでは能と狂言が密かなブ  
ーム。なぜ、今能なのか。能の源  
点を探ってみました。

遠く奈良時代に中国から伝来し  
た散楽が源を發し平安時代に「猿  
楽」が生まれて来たといわれてい  
ます。その猿楽は大和に多くの「  
座」が存在し、神事に参画。又田  
植行事から生まれた「田楽」も能  
を演じていたようです。そうい  
う中で春日興福寺の神事に揃って参  
勤した猿楽の座が特に強力で、後  
で大和猿楽四座と呼ばれました。  
円満井(金春)・坂戸(金剛)・  
外山(宝生)・結崎(観世)の四  
座がそれで、地名で座名が呼ばれ  
ていましたが、後に各座の棟梁の  
芸名が座名となり金春座・金剛座  
・宝生座・観世座になります。明  
治になって流派として呼ばれるよ  
うになり、喜多流を加えて、上掛  
り二流(観世・宝生)下掛り三流  
(金春・金剛・喜多)のシテ方五  
流が生まれた。高喜多流は他の四  
流よりおかれて、江戸時代に入っ  
て、流祖喜多七太夫が四座と同格  
の待遇で徳川家に召抱えられたの  
が一流の樹立とされています。  
(資料提供・L.山村)

(喜多) L.高松 L.江崎 L.原  
(金春) L.安徳  
(観世) L.大内 L.鶴 L.江頭章  
L.富安 L.穴見 L.丸山正  
L.筒井 L.山村

◆以上の方が能・狂言について  
携わっておられます。

祝！川嶋氏、技能功勞士受賞！

地域社会の発展に貢献  
優れた職業技能をもつ技能奨励者と地  
域の雇用安定・促進に貢献している雇  
用優良事業所の表彰式が十一月十二  
日、市民会館で行われました。  
？ 技能奨励者表彰制度とは？

技能功勞士	30年以上従事する55歳以上の人	技能が特に卓越し、優れた技能を有してあり、市内、さらに技能ではその技能の研鑽に精励する第1人者と目されるときに、後で他の技能者進の指導育成に模範と認めら寄与する人
技能優秀士	20年以上従事する36歳以上の人	優れた技能を有し、さらに技能の向上、職種の発展に努める
青年技能優秀士	10年以上従事する35歳以下の人	若くして優れた技能を有し、技能の向上、職種の発展に努める



◆表彰式にて記念撮影  
久留米市長と撮影

この表彰制  
度は、地域にお  
ける技能向上、  
及び技能尊重  
の気運を高め  
る事を目的と  
し、優れた職業  
技能を有する  
方にこれらの  
称号を贈るも  
のです。今回は  
計16人が表彰  
されました。  
また、川嶋氏  
は、九州理容研  
究大会(プロ  
入部門)優勝を  
はじめ数多く  
の大会で入賞  
されるなど高  
い技術を有し、  
久留米市内に  
おいても、二  
番規模と来客  
数をほこって  
とだと気づいた。

犬声狎語

りんどうLCの  
皆さんあけまして  
おめでとうござい  
ます。今年も張り  
切って元気にボラ  
ンティア活動に奉  
仕しましょう。▼  
しかし日本のこの不況  
いつまで続くんでし  
うね。日本の経済が崩  
壊して十数年。経済ア  
ナリスト達は口を揃え  
て「まだ続く」と言っ  
ている。この見通しだと  
耐えがたきを耐え、忍  
びがたきを忍ぶ」と云  
う生き方しかなさそう  
です。▼年末に考えま  
した。一九六〇年後半  
から始まった高度経済  
成長と、その成功。それ  
からの三十年間の「パ  
ブル経済」といわれた  
時代。我々は初めて実  
現した物質的な豊かさ  
に酔った時代でもあつ  
た。欲しいものは何で  
も手にはいることがで  
きた。随分と無駄なも  
のであった。株は三分  
の一、土地は四分の一、  
ゴルフ会員券はタダ同  
然。一体あの三十年間  
は何だったのか。：そ  
んな過ぎ去った日々を  
思い浮かべました。▼  
物を大切にしなくなつ  
た。責任感を失い倫理  
的規範まで失いかけて  
いる我々日本人。▼一  
体、心の豊かさとは何  
だろわか、物などいく  
ら持つてもそれが生活  
を豊かにするのでは無  
い事を我々は悟った。  
▼ではどうすれば心の  
豊かに幸せに生きるこ  
とができるのか、これ  
がこれからの大事なこ  
とだと気づいた。